

広報・教育部門

未来への夢多き中学生が1日職員に！

～下水道のお仕事してみませんか～

川崎市上下水道局

次世代を担う中学生が水処理センターの1日職員になります。
下水道が果たしている役割と重要性について理解を深め、その魅力を知ってもらいます！

中学校と上下水道局の悩みをまとめて解決！



1日のタイムスケジュール

<p>下水道について沢山のことを経験したいです！</p> <p>【辞令式】 センター所長より辞令を交付、職員と同じ作業着を着て1日が開始です</p>	<p>【採水・水質試験】 水がきれいになっていく様子を確認し、下水処理の仕組みを学びます</p>	<p>【機械操作】 機械の運転操作・点検を行い、実際に、現場作業を体験します</p>	<p>現場作業を体験して仕事の大変さを実感しました</p> <p>【配管交換】 工具の使い方を学び、自ら手を動かして配管を組み立てます</p>
--	--	--	---

PRポイント！

- 中学校側が抱えている**職場体験の受入先不足**という課題の対応を図りました。
- **費用をかけずに実施**することができる有用な広報手法の一つです。
- **多様な職種が連携**し、職員が一丸となり、共同化した広報の取組みを進めました。

取組の効果！

- 生徒たちが下水道に持っていた「臭い、汚い」というイメージを「**生活に必要なもの**」に変えることができました。
- 受入校数が年々増加、取組み規模拡大中です。
- 体験後、**生徒や先生、保護者向けに報告会**を行っており、**二次的な広報としての成果**もあげています。
- **下水道業界に次世代を担う若い世代を呼び込む**きっかけになればと期待しています。



報告会の様子（体験後）

Key Person



加瀬水処理センター水質係
丸山 浩司

取組みに関するエピソード

職業意識が芽生える中学生に下水道という仕事を知ってもらいたいという思いから、中学校の教育課程にある職場体験学習を新たな下水道事業のPRの機会と考え、水処理センターで職場体験学習の受け入れを開始しました。生徒たちが楽しめる体験・印象に残る体験を企画することに苦勞しました。生徒たちは慣れない環境で緊張している様子でしたが、休憩時間の雑談などで緊張をほぐし、楽しい体験にすることができました。また、職場体験学習を通じて、対応した職員は下水処理や設備について再確認する、自らの業務を見直すなどモチベーションアップにも繋がりました。